



年頭の挨拶



富士市議会議長 山田金吾

昭和三十年即ち富士市誕生第一年の新年を迎えまして、光栄ある新春を祝福し得ます。市民各位にとともに感謝するものであります。想えば過ぎし昭和二十九年は当富士市にとつて、永久に記憶さるべき年

外、市の内外を問わず過ぎし年は度重なる台風、洞爺丸、原水爆被害、経済界の不況、市長・市議選等悲喜交々お互に想出多い年を送りました。本年は、我が新生富士市にとりまして、最も意義ある年であります。即ち

の前途は必ずしも楽観を許さぬものがあります。我々議会は此の際年頭に当り国内外に於ける政・財界等混迷の中にあつて、審きにその情勢を洞察し、あらゆる努力をもつてこれに対処するの決意を新たにしまして、市民各位の総意を結集し、当局

賀



富士市長 遠藤脩治

昭和三十年の年頭に当り、市民の皆様と共に栄えゆく富士市の将来を寿ぎ、且つ過ぎし新年誕生の第一を顧みず事には誠に意義深き事と感ずる次第であります。殊に私の最も喜びとする処は合併後迎える最初の新年

歴史の数々を重ねると同時に又一面多事多難の年であつたと思ひます。先づ皆様と共に産み出した富士市全市民と心から祝つた七月二十日からの市制祭、新生富士市の市旗を後楽園に輝かせた本州チーム、本州、大興両工場の拡張、商工会議所の堂々たる再発足、信用金庫

の格別の御協力がなくしては円滑なる実現は困難でありまして市民皆様の正しい御理解と絶大な御支援によりまして相共に提携し本年の計画を遂行したいと存じます。希望に胸躍らせつつ新春を迎え、市民各位と共に決意を新にし躍進する富士市の弥栄を祈念すると共に市民各位の御精励と御健康とを念願致しまして御挨拶と致します。

一九五五年の新春を寿ぐ 富士市

年頭に当つて

富士市教育長 浦田 隆一

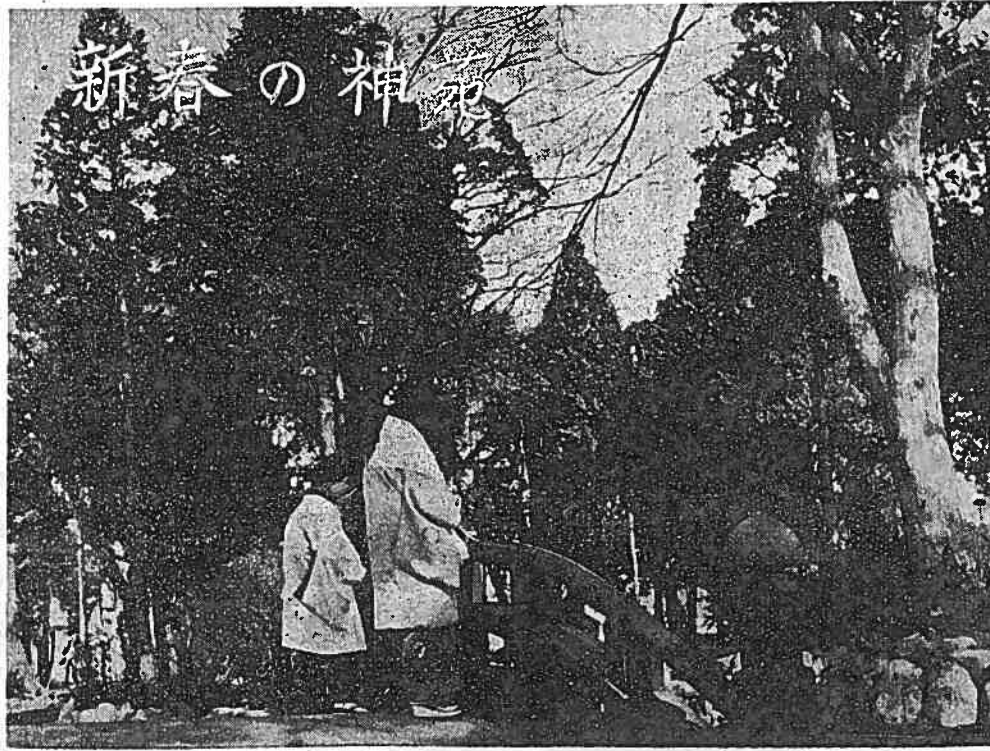
かつて「危機の年」と言われ昭和二十九年もインドシナ休戦によつて、所謂熱い戦争も一応終止符をうち、平和に向つて両体制が努力を示しながら昭和三十年を迎えました。

従来とも言われて来た事でありましたが民主主義の完成が之でありました。戦後既に十年、あらゆる時、あらゆる場所に於てこれ程言云されて来た言葉はありませんが、果してどれだけ各人に於てそれが認識され、実行されているでしょうか。

新しい年を迎えるに當つて、深く反省してみたいと思ひます。自由に進みながら責任をもつて作り上げて行くという態度を、今年こそは作り上げて行き度いものです。そして独立国という顔縁に入れる新しい絵を私達の手で、真に完成にまで描いて行かなければなりません。即ち、この絵が手、民主主義に徹した新しい人間像に求めなければなりません。

私はこの新しい人間像を教育基本法第一条の「平和的な国家社会の形成者として、真理と正義を愛し、個人の価値を尊び、勤労と責任を重んじ、自主的精神に充ちた、心身共に健全な国民」に求めたいと思ひます。教育は、それ自体理想を追求する仕事であります。一日一日と前に向つて伸びるべき性質をもつて居ります。新しい人間像の形成という理想に向つて一時も休まないのが教育であります。

私達はこうした教育の本旨を考へる時、一時的な感情或は瞬間的な時の動きから軽々しく影響を受けることなく、凡ゆる階層の世論に静かに耳をかしながら教育の前進の爲に慎重な考慮を払い、学校教育に於ても、社会教育に於ても、この理想に向つて邁進したいと思ひます。



新春の神

米之宮公園

「つつじ」の名勝として色とりどりの名花が咲き競う私どもの公園であります。金魚や鯉も満水の池でゆうくと、止目を迎えます。

な鳥舎で大にぎわいで新春を迎えました。大樹に群る小鳥もお子様連れの皆様の御来園を御待ちいたしてあります。愛嬌者のお猿さんもその内お興入れするこゝろです。

|                 |
|-----------------|
| 一月の暦            |
| 一日 元旦           |
| 二日 消防出初式        |
| 三日 御用初          |
| 四日 初えびす         |
| 五日 小 寒          |
| 六日 七草かゆ         |
| 七日 えびす          |
| 八日 しめなほ外し       |
| 九日 成人の日         |
| 十日 やぶ入り         |
| 十一日 はつか正月       |
| 十二日 大寒          |
| 十三日 三十一日 鈴川毘沙門天 |

Vertical text on the right edge of the page, including '線なす。向屋上に夫々大型ス' and 'ビレガールを設置'.